北海道防衛局
Hokkaido Defense Bureau

北海道
防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/

駐屯地創立記念行事
市内パレード
（留萌駐屯地提供）

「絆（きずな）」留萌駐屯地と名寄市の紹介・・・・・・・・・ P2～3
防衛省所管補助事業等実務担当者研修会・・・・・・・・・・・ P4
防衛問題ミニセミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
東千歳駐屯地創立記念行事で広報活動・・・・・・・・・・・ P5
防衛政策講座　防衛力の抜本的強化について（第２回）・・・ P6
陸上自衛隊オスプレイ（Ｖ－２２）について・・・・・・・・ P7
北海道基地協議会総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
最適化事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
幹部紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
新規採用者研修　職員採用情報・・・・・・・・・・・・・・ P10

北海道防衛局
ホームページ

北海道防衛局
公式Ｘ

2025
06
vol.94

「絆（きずな）」　留萌駐屯地

陸上自衛隊　留萌駐屯地の紹介

歴代司令の思いを受け継いだ「我らここに励みて国やすらかなり」と記された標柱

「留萌一家」の石碑
留萌駐屯地で勤務したものは家族として今後も留萌を忘れないという思いが込められている。

留萌駐屯地は道北・旭川市から西へ約８０Ｋｍ、日本海に面した留萌市に所在しており、昭和２８年に北海道人造石油跡地に駐屯地が開庁され、道北地域１市６町１村の防衛・警備を担任しています。

また、駐屯部隊は第２６普通科連隊を基幹として８個の部隊が駐屯地しています。

留萌市防災訓練

富士登山駅伝大会
留萌市応援団

全日本バイアスロン選手権大会

留萌市との関係性

留萌駐屯地は防災訓練への参加や防災施策の推進等、留萌市と密接な連携強化を図るとともに、留萌市の最大の祭り「るもい呑涛まつり」に参加し、隊員と市民が一体となってまつりを盛り上げています。

「駐屯地とともにある夕日耀く留萌」をスローガンに今後も各種イベントに協力し、留萌市を盛り上げ、駐屯部隊への任務等のご理解を深めていただいています。

留萌市最大の祭り
「呑涛（どんとう）まつり」

道北、日本海に面した駐屯地として「地域とともにあれ」、「地域への感謝・信頼の維持」をスローガンに、使命感と責任感をもって、いつ如何なる任務にも即応できるよう日々訓練に励んでまいります。

第２６普通科連隊長兼ねて留萌駐屯地司令　１等陸佐　小川　隆宏

「絆（きずな）」　留萌市

自衛隊の皆様には、わが国の防衛と地域の安全確保をはじめ、平素より留萌市行政のご理解とご協力並びに様々な行事等への参加と各種地域のイベントなどに対しまして積極的かつ真摯なご支援・ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。
今後も自衛隊の皆様が安心して任務に邁進できる街づくりを進めてまいります。

中西俊司　留萌市長

その美しさに息を呑むほどの夕陽と世界三大波濤のまち　留萌市

黄金岬海浜公園の夕陽

留萌市は、北海道の北西、日本海オロロンラインの中継地点に位置し、西は日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なる、豊かな自然に囲まれ、高規格幹線道路深川・留萌自動車道の終点に位置する交通・物流の拠点、国や北海道の官公庁が集積した留萌振興局管内の中心都市となっています。
また、当市には、タコ・ヒラメ・ウニなどの海産物、良質な留萌産米を中心とした農産物など、四季折々の食彩が豊富なほか、日本の夕陽百選に選出されている黄金岬海浜公園の夕陽、世界三大波濤に数えられている留萌沿岸に押し寄せる波濤など風光明媚な観光スポットがあります。
ニシンで栄えた往時の歴史を受け継ぐ水産加工業を基幹産業に、国の重要港湾である留萌港を核としたまちづくりに取り組んでいます。

特産品「味付かずの子」

留萌市と防衛省・自衛隊との関わり

陸上自衛隊留萌駐屯地の皆様には、留萌市を含む道北地区の防衛警備の任務はもとより、市の特性である雪害を含めた多様な災害に対応すべく、日頃から密接な連携を維持していただいているところです。特に防災訓練において市、警察及び海上保安庁との協同輸送、人命救助を目的とした装備品の展示や赤十字奉仕団と協力した炊き出し等多大な協力をいただいております。
市内の各種イベントにおいても留萌呑涛まつりにおける行燈やはねと、萌(もえ)っこ春待里(はるまつり)における音楽演奏や太鼓演奏、ばんばレースの参加など多大なご支援をいただいております。

留萌市防災訓練

留萌駐屯地等周辺　除雪施設（除雪車）設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第８条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。
この除雪車は、自衛隊の事故等が発生した場合における住民の避難又は消防活動の円滑化を図るための施設として整備しました。

【補助事業の概要】
補助事業の内容：除雪ドーザ　１台
事　業　年　度：令和２年度
補助対象事業費：１６，６３７千円
補　　助　　額：１２，４７７千円（補助率７．５／１０）

防衛省所管補助事業等実務担当者研修会

令和７年４月１５日、千歳市内のホテルにて、北海道基地協議会（会長：横田千歳市長）の主催、一般財団法人防衛施設協会の協賛により「令和７年度　防衛省所管補助事業等実務担当者研修会」が開催されました。

この研修会は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」等に基づく各種補助事業等の制度や具体的な事務手続きなどについて、防衛施設関連自治体の実務担当者の理解を深めることを目的としたものです。

今年度は全道４６の自治体等から約２２０名の実務担当者が参加しました。

はじめに、開催地挨拶として千歳市の品田副市長が挨拶し、「防衛施設の周辺自治体におきましては、防衛施設と住民との生活環境の「調和」と「安定」を図るため、防衛施設の設置・運用により生ずる障害の「解消」や「緩和」に向けた各種施策に取り組み、自衛隊との共存共栄の推進を図らなければならないものと考えております。」と述べました。

続いて当局の尾﨑企画部長から、「防衛施設が、その機能を十分に発揮するためには、防衛施設と周辺地域との調和を図り、常に安定して使用できる状態を維持することが重要であると考えており、そのためには、引き続き各自治体の皆さまをはじめとした地域の皆さまのご理解とご協力を賜ることが不可欠です。」と挨拶しました。

その後、全体研修として会計検査に関する情報や制度改正について、当局職員から説明を行い、個別研修では、民生安定、障害防止・道路及び交付金の各分科会に別れ、意見交換などが活発に行われました。

防衛問題ミニセミナー

北海道防衛局は、令和７年５月３０日（金）新ひだか町、6月５日（木）美幌町にて、「我が国の防衛政策について」と題し、防衛問題ミニセミナーを開催しました。

講師を務めた福島北海道防衛局長から、我が国の安全保障と防衛の基本的考え方（防衛3文書）や、防衛力の抜本的強化の進捗状況と予算、そのなかで北海道防衛局が果たす役割などについて説明を行い、参加者から活発なご質問等を頂き、我が国の防衛政策について理解を深めて頂きました。

今後も道内の皆様に、防衛政策にかかる最新の情報、防衛省・自衛隊や当局の活動について、防衛問題セミナーやＳＮＳなどの各種広報ツールを活用しお伝えしてまいります。

会場の様子（新ひだか会場）

質問に答える福島局長（美幌会場）

東千歳駐屯地創立記念行事で広報活動

令和７年５月２４日（土）、陸上自衛隊東千歳駐屯地で開かれた第7師団創隊７０周年・東千歳駐屯地創立７１周年記念行事会場に広報ブースを開設し、防衛力の抜本強化や防衛費の使い方、北海道防衛局の活動について広報活動を行いました。

当局ブースでは、ささやかなプレゼントをご用意してお待ちしておりますので、今後の創立記念行事にお越しの際は是非お立ち寄りください。

北海道防衛局広報ブース

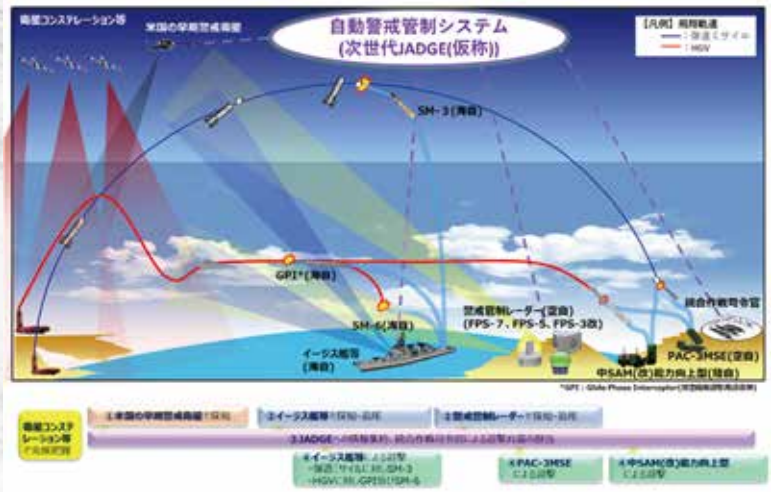
缶バッチに喜ぶ来場者

防衛政策講座　防衛力の抜本的強化について（第２回 統合防空ミサイル防衛能力の強化）

わが国の安全保障政策にかかる主要な文書である「国家安全保障戦略」などの「防衛３文書」において、防衛力の抜本的強化にあたり重視する７つの機能・能力が位置づけられています。前回はスタンド・オフ防衛能力の強化についてお伝えしましたが、今回は第２回として、統合防空ミサイル防衛能力の強化について紹介します。

四面環海の日本は、空からの脅威（経空脅威）への対応が極めて重要です。近年、弾道ミサイルの能力向上や、高速化・長射程化した巡航ミサイル、ステルス化や複数任務を実施できるよう能力向上した有人・無人航空機に加え、対艦弾道ミサイル、極超音速滑空兵器（ＨＧＶ：Hypersonic Glide Vehicle）などの出現により、経空脅威は多様化・複雑化・高度化しています。このため、探知・追尾能力や迎撃能力を抜本的に強化するとともに、ネットワークを通じて警戒管制レーダー（センサー）とPAC-3やイージス艦など迎撃を行う装備（シューター）を自動警戒管制システム（ＪＡＤＧＥ）によって連携させ、一元的かつ最適に運用できる体制を確立し、統合防空ミサイル防衛能力を強化することとしています。

相手からのわが国に対するミサイル攻撃については、まず、ミサイル防衛システムを用いて、公海やわが国の領域の上空で、わが国に向けて飛来するミサイルを迎撃します。そのうえで、弾道ミサイルなどの攻撃を防ぐために他に手段がないと認められる場合におけるやむを得ない必要最小限度の自衛の措置として、相手の領域において、有効な反撃を加える能力として、スタンド・オフ防衛能力などを活用します。こうした有効な反撃を加える能力を持つことにより、相手のミサイル発射を制約し、ミサイル防衛による迎撃を行いやすくすることで、ミサイル防衛とあいまってミサイル攻撃そのものを抑止していきます。（スタンドオフ防衛能力、反撃能力やもっと詳しい情報についてはこのページにある2次元コードからご参照ください）



出典：令和６年版防衛白書

今後は、より高性能化・多様化する将来の弾道ミサイルの脅威に対処するため、日米共同で開発したイージス艦に搭載する迎撃ミサイル（SM-3ブロックⅡA）の取得。最新鋭のイージス艦と同等以上の能力を保有し、省人化を図りつつ耐洋性、居住性などを向上させたイージス・システム搭載艦2隻の整備や、従来のPAC-3と比べ、おおむね2倍以上に防護範囲（面積）が拡大するPAC-3能力向上型であるPAC-3MSEの整備を進めています。　（出典：令和６年版白書）

スタンドオフ能力、反撃能力
https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/kouhou/kouhoushi/pdf/093.pdf

ミサイル防衛について
https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html

陸上自衛隊オスプレイ（Ｖ－２２）について

陸自オスプレイの移駐について

防衛省・自衛隊は、令和５年6月から陸自佐賀駐屯地（仮称）の工事に着手しており、喫緊の課題である島嶼防衛能力の強化のため、早期に佐賀空港の隣接地に陸自オスプレイの配備を行うことで、長崎県佐世保市などに所在する水陸機動団と一体的に運用できる体制を構築する考えです。

なお、佐賀駐屯地（仮称）については、陸自オスプレイの移駐に必要な施設を令和７年６月末までに完成させる計画であり、現在、工事は順調に進捗しているところです。

施設整備完了後、令和７年７月９日に佐賀駐屯地（仮称）を開設のうえ、陸自オスプレイを運用する輸送航空隊が木更津駐屯地から移駐するとともに、佐賀駐屯地（仮称）へ同機体を順次移駐させ、８月中旬には移駐が完了する予定です。

陸自オスプレイの安全性

陸自オスプレイの運用に当たっては、飛行の安全確保が最優先であり、安全確保に万全を尽くしております。北海道防衛局は地元の皆様のご不安やご懸念の払拭のため、 北海道庁をはじめ関係自治体の皆様に対して、丁寧な説明や情報提供に努めてまいります。

【基本的な考え方】

○　オスプレイは、**米国政府が安全性・信頼性を確認**した上で、量産されたものです。

○　政府は、米オスプレイの普天間飛行場への配備に先立ち**独自に安全性を確認**しています。

○　米オスプレイと同型機の陸自オスプレイを導入することを決定した際、改めて、**安全な機体であることを再確認**しています。

【機体の安全性の再確認】

○　陸自オスプレイの操縦・整備要員の一部が**米海兵隊の教育課程を修了**したことを踏まえ、改めて機体の安全性を再整理しています。

➤　**民航機も採用**している**確立された技術**を導入し、**操縦士の負荷**が適切に**軽減**された操縦性能

➤　**十分な運用実績**を有し、安全性が確認されている**エンジン**

➤　**十分な整備が可能**であり、高い信頼性が確認されている「ナセル」

ナセル
（ナセルにはそれぞれ１つのエンジンを格納。ナセルを傾ける（ティルト）ことにより、固定翼モードと回転翼モードを切り替え。（ナセルが水平で固定翼モード、ほぼ垂直で回転翼モード）

➤　飛行に重要な各種機能は補完性が幾重にも確保されており、**万が一の際もバックアップ可能**

➤　**高度にシステム化**されて、人的ミスが起きる可能性を局限している**機体整備**

北海道基地協議会総会

令和７年５月２７日、名寄市内のホテルにて、北海道基地協議会（会長：横田千歳市長）の令和７年度総会が３４市町村の出席により開催され、来賓として当局の福島局長、本省地方協力局から掛水地域社会協力総括課長が参加しました。

総会は、横田会長の議事進行のもと、令和７年度事業計画、予算、要望運動等についてそれぞれ決定され、掛水地域社会協力総括課長から基地周辺対策経費について説明が行われました。

総会の終了後、出席者は陸上自衛隊名寄基本射撃場の視察研修が行われ、現地部隊の活動や現状について理解を深めていただきました。

最適化事業について

令和７年度　最適化事業（旭川駐屯地）について

北海道防衛局では、令和７年度の最適化事業として、陸上自衛隊旭川駐屯地の建物やライフラインなどの、再配置、集約化、老朽改修等を計画しています。

事業の実施にあたり、契約相手方の選定手続きを中立的かつ公正な審査・評価により行うことが特に重要であると考えており、学識経験者の方々で構成される技術提案・交渉方式専門部会を令和７年６月に開催し、ご審議いただく予定です。

旭川駐屯地

建物規模別の棟数

区分	規模a	規模b	規模c	規模d	規模e
延べ面積	5,000m2以上	3,000m2以上5,000m2未満	1,000m2以上3,000m2未満	200m2以上1,000m2未満	200m2未満
建替	1	3	8	27	40
改修	1	3	6	3	36

※上表の数量は目安のため、実際の数量とは異なる場合があります。

北海道防衛局は、引き続き、最適化事業を適正に進めてまいります。

その他、生活環境改善についての紹介は、防衛省ＨＰ（生活・勤務環境の改善について）に掲載しています。

防衛省ＨＰ

施設整備関連（事業の紹介）

北海道防衛局では、最適化事業以外にも、道内の基地・駐屯地等において施設整備工事を行っています。現在施工中の一例を紹介します。

北海道演習場間を繋ぐ道路等整備工事（橋梁概要：橋長約300m、高さ約36m）

工事区域全景

北海道の演習場専用道路の橋梁としては最長となる、延長約３００ｍの橋梁を現在整備中です。

恵庭市内を流れている漁川（いざりがわ）と道道117号を跨ぐため、橋梁支間長が最大約８０ｍとなります。

橋梁形式は、PC４径間連続ラーメン箱桁形式を採用しています。

工期は着工から２０ヶ月を予定しており、移動作業車６基を用いて、張出し架設工法により３橋脚の同時張出し施工を進めています。

幹部紹介　～４月人事異動～

４月１日付で総務部長を拝命した比内（ヒナイ）です。
昨年７月からの管理部長在職時には、関係各所の皆様にお世話になりました。感謝申し上げます。
総務部に異動いたしましたが、当局の業務を円滑に進めるとともに、引き続き防衛政策について、地域の皆様のご理解とご協力を得られるよう尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

総務部長
比内　友昭

４月１日付で管理部長を拝命した佐藤です。
管理部の主たる業務であります自衛隊等が使用する土地・建物の管理、自衛隊等が訓練を行った際に発生する損失の補償などについて、職員とともに業務を円滑に実施し、自衛隊等の活動について、引き続き地域の皆様方のご理解ご協力が得られるよう努力いたす所存でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

管理部長
佐藤　智浩

４月１日付で帯広防衛支局長を拝命した山口です。
前任地の北海道防衛局から引き続き道内での勤務となりますが、道東地域での勤務は初めてです。
私は北見市出身であり、幼い頃からこの地域の自然や文化に触れ育ってまいりました。
帯広防衛支局での勤務に当たり、これまでの経験と地の利を活かし、地域の皆様方と向き合いながら職務を進める所存ですので、よろしくお願いいたします。

帯広防衛支局長
山口　淳一

𝕏（旧Twitter）のご案内

北海道防衛局では、Ｘ（旧Twitter）を開設しており、各種入札関係の情報や職員採用の情報など、随時更新しています。新規採用職員の研修の状況などもポストしていますので、ぜひフォローをお願いします。

北海道防衛局
公式Ｘ

令和７年度　新規採用者研修

北海道防衛局は、４月１４日から４月１６日の間、令和７年度新規採用者研修（採用者９名）を行いました。

研修は、防衛省職員としての基礎的な知識付与を目的とした業務概要説明のほか、福島局長による講話が行われました。
また、研修の一環として、陸上自衛隊第７師団東千歳駐屯地、海上自衛隊余市防備隊、航空自衛隊第２航空団千歳基地、防衛装備庁千歳試験場を訪問しました。各部隊等では、施設や装備品の見学のほか、隊員等から直接話を伺うことができる貴重な機会となりました。

新規採用者は、研修の中で疑問に思ったことは質問し理解を深めつつ、採用者同士での交流も行うなど、終始積極的に研修に取り組んでいる様子でした。北海道防衛局の一員として、今後の活躍が一層期待されます。

局長講話

戦闘機見学

史料館見学

令和7年度 職員採用情報

国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

◇事務
◆技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）
◆農業土木

令和７年度採用試験スケジュール

■ 国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

6/13～6/25	9/7	10/9	10/15～10/24	11/8	随時	採用面接後随時
申込期間	1次試験	1次試験合格発表	2次試験	最終合格発表	採用面接	内　定

1次試験以降、業務セミナー開催予定！

官庁訪問（２次試験期間中除く）

【お問合せ】　防衛省北海道防衛局 総務部総務課人事係
TEL 011-272-7590（採用専用）

北海道防衛局HP 採用情報

地方防衛局（事務） 採用パンフレット

地方防衛局（技術） 採用パンフレット